

令和3年度 第3回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和4年2月25日（金） 書面開催
場 所	—
出席者	委員13名（期限内に意見書の提出あり） 山田委員（会長）、笹川委員（副会長）、大重委員、小嶋委員、瀬戸口委員、 曾田委員、瀧川委員、竹之下委員、竹林委員、花田委員、福島委員、松野委員、 三輪委員
会次第	（議事）第3次鹿児島市男女共同参画計画（素案）について
議事概要 ○委員 ●事務局	<p>○2. 計画策定の背景(1)～(5)の順番について、(1)はここ2年位のコロナによる影響というトピックな内容なので、普通に考えたら視点大→小という流れでいけば(1)は後ろに来そうな気がする。最初に持ってきた意味は何か確認したい。</p> <p>●新型コロナウイルスの感染拡大により、これまで潜在化していたDVや女性の貧困等が可視化され、改めて男女共同参画の進展状況について疑問の声が上がっている。こうした問題意識の高まりは、男女共同参画を強力に推進するとともに、誰一人取り残さない多様性と包摂性のある社会を実現する機会になると考えており、特筆すべき歴史的な出来事として一番目に記載している。</p> <p>○政策方針決定過程などに女性の参画が進んでいない背景には、男女双方に根強い性別による固定的な役割分担意識や無意識の偏見、それらに基づく社会慣行などの存在が考えられる。したがって、市民に呼びかける内容については、女性にのみ意識や行動の変容を促したり、個人の意識の問題と解されたりする可能性のある表現よりも、男女双方を対象にして、意欲のある個人が性別に関わりなく能力や意欲を発揮できるような環境づくりが必要、といった表現が望ましいのではないかと。</p> <p>●ご意見の趣旨を踏まえ、男女双方へ呼びかける表現に修正する。</p> <p>○「用語解説」は男女共同参画をより深く理解して頂くツールとしてとても有効。逆引きできるように用語の掲載ページを付けて頂きたい。</p> <p>●ご意見を踏まえ追記する。</p>